

おさかわら版

小名浜”の再興への期待が高まってきたようです。

発行所
小名浜まちづくり
市民会議
TEL: 52-1275
FAX: 52-1415
発行日
二〇〇二年一月五日

平成27年4月20日



▶新魚市場の外観

漁業の町としての一翼を担う魚市場が3月26日、装いと機能を新たに竣工し、お披露目されました。新魚市場は小名浜港1号ふ頭（いわき・ら・ら・ミュウ東側）に誕生。これまでの魚市場とは一変、明るい

零閑気の概観で、小名浜の漁業復興を待ちわびています。



▲ 2階展望デッキからの魚港区の様子、マリンタワーが見える



▶場内案内図



▶遠海ものB棟内部



▶近海ものA棟内部



3月全体会議

まちなかコンサートの開催も予定している。また既存のガイドブックを見直し、改定していく」とあります。パートナー・シップ委員会からは「これまで通りの広報のほか、ホームページの作成や、さらなる会員の拡大に努めたい」と新年度に向けての報告がありました。

3月全体会議は3月26日、まちづくりステーション小名浜で開かれました。今回は「各委員会の今年度事業反省と次年度事業計画について」をテーマに、26年度の反省と27年度に向け、各委員会で話し合いました。

歴史と文化づくり委員会からは、「この1年、イオングモールや中心市街地などまちづくり関連のことが多く、本来の歴史に特化する機会が取れなかった。富ヶ



▶ 報告をする太田委員長

3月全体会議



▲県の職員と懇談する佐藤会長とメンバー

県と市へ要望書を提出

小名浜まちづくり市民会議では2月に県と市へ小名浜のまちづくりに関する要望書を提出しました。要望書は、震災からの復興を目指す小名浜地区のまちなかに賑わいを創り出すきつかけになるよう、改正中心市街地活性化法の適用

認定に向けて県や市に協力ををお願いする内容となっています。

12日には佐藤会長、鈴木智県議ら市民会議のメンバー4人が県庁を訪問。鈴木潤一、鈴木典弘の両土木部次長へ要望書を手渡しました。また19日には大友康夫市議ら市議3人を含むメンバーや9人が市役所を訪れ、清水市長に要望書を手渡しました。

懇談の中では、県、市ともに、発展的で元気な小名浜を創出できるよう、市民会議と協力関係を構築していくことが確認されました。

開発で、福島臨海鉄道が移転。平地となり、すまやの角からも、小名浜の海をわずかに見ることができます。ここから海が見えるのは、何と57年ぶり。当時は遠浅の砂浜が広がり、「下駄履き、海パンで泳ぎに行つた」と小名浜在住の小野佳秀さんは感慨深げに語っていました。

つかの間の海

再開発の工事がスタートすれば、再びこの景色を見るることはできません。つかの間の風景、昔に思ひをはせて眺めてみては



▲ 清水市長に要望書を渡す佐藤会長とメンバー

夫と継続的な対応が必要に思います。

「風評」が「風化」に変わつてしまわぬよう、できるごとからコツコツと飽くなき行動を起こしていきましょう。(著: F・O)

小名浜まちづくり 市民会議とは…

小名浜に住む人、小名浜を心から愛する人、小名浜を輝かせたいと思っている人々が集まり、関係機関・団体と協働で小名浜のまちづくりを進めている団体です。

会員募集

小名浜まちづくり市民会議では随時、会員を募集しています。学生さんも、働くお父さんも、子育てに励むお母さんも、年齢は問いません。皆さんと一緒に素敵な未来の小名浜を創りませんか？

年会費 個人会員：3,000円 企業会員：15,000円 団体会員：12,000円

お問い合わせ・お申し込みは： いわき市小名浜字本町 11-1（まちづく

TEL: 52-1275 FAX: 52-1415

<http://www.onahama.jp/> E-mail: info@onahama.jp



市民会議では随時 FB に活動状況を
アップしています。見つけたらぜひ、
友達申請  いいね！ してね！

新事務局員紹介

3月よ

この広報物は、小名浜地区行政嘱託員（区長）連合会の御協力により配布しております。